

投資者の皆様へ

2024年6月5日



商号 SBIアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第311号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

6月5日の弊社ファンドの基準価額下落について

平素は弊社ファンドをご愛顧いただき、誠にありがとうございます。
以下のファンドの基準価額が6月5日に大きく下落しましたので、その要因等についてご報告申し上げます。

1.基準価額及び騰落率(6月5日)

ファンド名称	基準価額	前営業日比	騰落率
SBI・iシェアーズ・インド株式インデックス・ファンド	11,160 円	▲759 円	▲6.4%
SBI・UTIインドインフラ関連株式ファンド	19,576 円	▲2,312 円	▲10.6%

2.基準価額下落の主な要因

本レポートに記載のファンドに関する下落要因は以下の通りです。

当ファンドの基準価額に影響がありましたのは6月4日の海外市場となります。

インドでは4日に総選挙の開票作業が始まりました。途中経過ではありますが、日本時間午後3時時点で与党インド人民党(BJP)中心の与党連合国民民主同盟(NDA)は下院543議席中300議席近くを獲得、インド国民会議派(INC)が率いる野党連合(インド国家開発包括同盟(INDIA))は220超と予想以上の議席を確保する見込みです。与党連合の方が優勢ですが、1日の投票締め切り後に公表された出口調査では、NDAが3分の2の議席を獲得すると見込まれており、インド株式市場は3日に過去最高値を更新しておりましたので、サプライズとなりました。また、4日に、注目された点は、①NDAは過半数を獲得見通しであるが、与党インド人民党は大幅に議席を失い単独過半数ではなくなる、②INCは2019年の前回総選挙時と比較して大幅に議席数を伸ばす、③ウツタル・プラデーシュ州など人口が多く、ヒンズー教徒も多い中核州で大きく議席を減らす、ことなどです。これらから、今後のインドの政策運営に対する混乱、与党は人気取り的なポピュリズム政策に傾斜するリスクなどが懸念された模様です。また、今回のインド人民党の議席減の背景として、インフレや急激な経済成長の陰で与党に批判的な多くの有権者が存在することが示唆されました。

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

6月4日には、インドの主要株価指数であるBSE センセックス指数が▲5.74%となり、インドルピーは4日から5日に▲1.06%となりました。

インドにつきまして、その経済的な重要性や、魅力的な企業の多い株式市場などから、引き続き新興国市場の代表的な地位は変わらないと考えます。一方で、今後、インド人民党が与党連合を維持していく上で政策的な妥協、ポピュリズム的な施策を用いる可能性は高まったと言え、インド投資にあたり考慮すべき点が増えたと認識しております。今後、この点に留意して運用を実施してまいります。

以上

投資信託にかかるリスク

投資信託は、主に国内外の株式・公社債等値動きのある証券を投資対象としますので、組入株式の価格の下落や、組入株式の発行体の財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、その結果、大きく損失を被る場合があります。

また、投資信託は、それぞれの投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

※投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本保証はありません。

お客様に直接・間接にご負担いただく費用等

(お買付時に直接ご負担いただく費用)

- お買付手数料 上限 3.85% (税抜 3.5%)

(途中解約時に直接ご負担いただく費用)

- 信託財産留保額 上限 0.5%

(保有期間中にファンドが負担する費用(間接的にご負担いただく費用))

- 信託報酬 上限 2.585% (税抜 2.35%)

※成功報酬制を採用する投資信託については、基準価額の水準等により報酬額が変動するため、上限等を示すことができません。

また、上記上限を超える場合があります。

● その他の費用

監査費用、有価証券売買時にかかる売買手数料、信託事務の諸費用等が信託財産から差引かれます。その他の費用は、監査費用を除き、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用等につきましては、一般的な投資信託を想定しています。費用の料率につきましては、SBIアセットマネジメント株式会社が運用するすべての投資信託のうち、ご負担いただく費用における上限を記載しております。また、成功報酬を採用する投資信託については、基準価額の水準等により報酬額が変動するため、上限額を超える場合があります。投資信託にかかるリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、お申込みの際には、必ず該当投資信託の投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

投資信託ご購入の注意

- 投資信託をご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、もしくは同時にお受取りになり、内容をご確認ください。
- 投資信託は値動きのあるものであり、元本保証、利回り保証、及び一定の運用成果の保証をするものではありません。したがって、運用実績によっては元本割れする可能性があります。
- 投資信託の基準価額の下落により損失を被るリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。
- 投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。